

3x3 GAME.EXE競技規則（基本ポイント）

2016年3月3日改定

コートとボール	コートは横 15m、縦 11m 使用球は全カテゴリー6号ボール（スボルディング社製）
選手登録	4名（出場選手3名+控え選手1名）
審判	1名もしくは2名
タイムアウト	なし
ゲームの開始	コイン・トス（coin flip）またはじゃんけんによって決定 ※コイン・トスまたはじゃんけんによって勝ったチームが最初に攻撃側チームとなるか防御側チームとなるかを選択する。延長時には、ゲーム開始のときに防御側であったチームが延長開始時に攻撃側チームとなり開始する。
競技時間とゲームの勝敗 （得点の上限）	試合時間は8分間の1ピリオド 競技時間が終了した時点で得点の多いチームが勝ち ※どちらかのチームが21点以上得点した場合、その時点で試合は終了となり、そのチームを勝ちとする。 ※ゲームクロックを止めずおこなう。但し、残り1分からアウトオブバウンズ、ファウル、フリースロー時にはゲームクロックを止める。
延長	先に2点を得点したチームの勝ち（この場合21点ルールは適用にならない。） ※1分間のインターバルの後に延長をおこなう。
得点	ツー・ポイント・ラインの内側からのショットによるゴールは1点 ツー・ポイント・ラインの外側からのショットによるゴールは2点 フリースローによる得点は1点
ショットクロック	12秒
ショット動作中のファウルで与えられる フリースロー	ツー・ポイント・ラインの内側でのショット時のファウルは1回のフリースロー ツー・ポイント・ラインの外側でのショット時のファウルは2回のフリースロー
チーム・ファウル制限	6回
過剰チーム・ファウルによる罰則 （7～9回）	ショット時でないファウルであっても、ファウルを受けたチームはフリースロー2回与えられる。
過剰チーム・ファウルによる罰則 （10回以上）	ショット時でないファウルであっても、ファウルを受けたチームはフリースロー2回与えられる。さらに、フリースロー終了後、ボールの所有権も与えられる。
フィールドゴールが成功したときのボール 所有権	攻守交替となり、守っていたチームがゲームを再開させる。 ※あらたに攻撃側になったチームは、リングの下からドリブルあるいはパスによってボールを一度ツー・ポイント・ラインの外まで運ばなければならない。 あらたに防御側になったチームは、ボールが“ノー・チャージ・セミサークル”の外に出るまではボールに対してプレイをしてはならない。
ボールがデッドになったときのボール 所有権	コート内のツー・ポイント・ライン外側の頂点付近で、攻守交替であらたに防御側になるチームのプレイヤーがあらたに攻撃側になるチームのプレイヤーにボールをパスあるいはトスして渡し（“チェックボール”）ゲームを再開する。
防御側がリバウンド、スティールしたとき	ドリブルあるいはパスなどによって、ボールを一度ツー・ポイント・ラインの外まで運ばなければならない。
ジャンプ・ボール（ヘルドボール）のとき	攻守交替し、ゲームを再開する。
個人ファウルと退場	テクニカル・ファウル/アンスポーツマンライク・ファウルを2回、または、ディスクォリファイリング・ファウルを宣されたプレイヤーは退場となる。
交代	ボールがデッドになったときに“チェックボール”前であればどちらのチームにも認められる。 ※あらたにコートに入る交代要員は、コートから退いて交代要員となるコート内のプレイヤーがコート外に出て“タッチ”等の身体接触をおこなってからゲームに参加できる。その際にあらたにコートに入る交代要員は審判やT0に申し出たり報告したりする必要はない。

※「2ポイントラインの外に出る」というのは、『左右どちらの足も2ポイントラインの内側についていない状態』を指す。
※上記競技規則は3x3ルールを分かり易く要約したものであり、競技規則は2014年1月 FIBA3x3競技規則に準ずるものとする。